

12月14日（金）開催セミナーのご案内

## 開示強化の潮流とコーポレートガバナンスの実務対応

～ESG投資家が評価する実効的なコーポレートガバナンスの開示のあり方とその実務とは～

<b>日時</b>	2018年 12月 14日（金） 13:00-16:00 （12:30受付開始）
<b>会場</b>	帝国ホテル東京 中2階『光の間』
<b>費用</b>	無料 ※事前のお申し込みが必要です

### 第一部

- ESG投資家が評価する実効的なコーポレートガバナンスの開示のあり方

#### <ゲストスピーカー>

ニッセイアセットマネジメント チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサー  
井口 譲二 様

- コーポレートガバナンスの統合的開示へ向けた考え方

### 第二部

- 経営者指名と経営者報酬の連携を通じた取締役会の機能強化
- 経営者指名・後継者計画の構築に向けた実務
- 経営者報酬にかかる開示規制の強化と今後の展望

## 開示強化の潮流とコーポレートガバナンスの実務対応

この度、ウイリス・タワーズワトソン主催により、首題のセミナーを開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

コーポレートガバナンス・コードの改定、それに続くCGSガイドラインの改定、また会社法の改正議論の進展など、2018年もコーポレートガバナンスの強化に向けた各種の制度整備が更に歩みを進めました。これと並行して、実効的なコーポレートガバナンスの実現に向けた企業の取り組みもますます加速しています。

こうした中で、次の制度整備の焦点は開示強化に移りつつあります。自社固有の価値創造ストーリーとの関係において、コーポレートガバナンス体制がどのように実効的なのか。これを説得力ある形で表現できなければ、ステークホルダーからの信任は得られません。足下のコーポレートガバナンス改革の実務においては、開示においてストーリーが示せるよう、各論を統合的に検討していく対応が求められています。

本セミナーでは、ESG投資の最前線で実務を重ね、対話・開示実務の有識者として広く活躍されている井口譲二様をゲストパネリストとしてお招きし、投資家がなぜ開示を重視するのか、望ましいコーポレートガバナンスの開示とはどのようなものかについて、そのご見識をお話いただきます。これに続き、開示の切り口から、コーポレートガバナンス全般の実務のあり方について、近時のアップデートをご提供します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ウイリス・タワーズワトソン  
コーポレートガバナンス・アドバイザリーグループ  
リーダー / ディレクター 櫛筒 隆亮

### ゲストパネリストのご紹介

#### 井口 譲二 様

ニッセイアセットマネジメント チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー 上席運用部長（投資調査）



アナリストリサーチの統括とスチュワードシップ活動の責任者。ICGN理事。1988年大阪大学経済学部卒業、金融・素材などのアナリスト業務、投資調査室長を経て現職。金融庁「金融審議会専門委員」/「企業会計審議会監査部会臨時委員」、経済産業省「統合報告・ESG対話フォーラム」/「持続的な価値創造に向けた投資の在り方検討会」委員、企業会計基準委員会専門委員（企業結合・ディスクロージャー）など。主な著書・論文に『財務・非財務情報の実効的な開示—ESG投資に対応した企業報告—』（別冊商事法務、2018年4月）、『スチュワードシップとコーポレートガバナンス』（共著、東洋経済2015年1月）、『非財務情報（ESGファクター）が企業価値に及ぼす影響』（証券アナリストジャーナル2013年8月号）など。

コーポレートガバナンスの実践に向けて  
～投資家が評価する実効的なコーポレートガバナンスとは～

第一部	◆ <b>ご挨拶</b> ウイリス・タワーズワトソン コーポレートガバナンス・アドバイザリーグループ リーダー／ディレクター 櫛笥 隆亮
	◆ <b>ESG投資家が評価する実効的なコーポレートガバナンスの開示のあり方</b> ニッセイアセットマネジメント チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサー 井口 譲二 様
	◆ <b>コーポレートガバナンスの統合的開示へ向けた考え方</b> ウイリス・タワーズワトソン コーポレートガバナンス・アドバイザリーグループ シニアコンサルタント 松尾 梓司
第二部	◆ <b>経営者指名と経営者報酬の連携を通じた取締役会の機能強化</b> ウイリス・タワーズワトソン コーポレートガバナンス・アドバイザリーグループ ディレクター 平本 宏幸
	◆ <b>経営者指名・後継者計画の構築に向けた実務</b> ウイリス・タワーズワトソン コーポレートガバナンス・アドバイザリーグループ アセスメントアジア地域プラクティスリーダー 高岡 明日香
	◆ <b>経営者報酬にかかる開示規制の強化と今後の展望</b> ウイリス・タワーズワトソン コーポレートガバナンス・アドバイザリーグループ シニアコンサルタント 宮川 正康

**日時** 2018年 12月 14日 (金)

13:00-16:00 (12:30受付開始)

**会場** 帝国ホテル東京 中2階『光の間』

[http://www.imperialhotel.co.jp/j/tokyo/access\\_map/direction.html](http://www.imperialhotel.co.jp/j/tokyo/access_map/direction.html)

**費用** 無料 (事前のお申込みが必要です)

**申込方法** 申込書に必要事項をご記入の上、下記Eメールアドレス宛へご送付ください。

Eメール送付先 [WTW.CGAG.Japan@willistowerswatson.com](mailto:WTW.CGAG.Japan@willistowerswatson.com)

**お問合せ** ご質問等ございましたら、以下担当者までお気軽にご連絡ください。

本セミナー担当： 後藤 文子

TEL: 03-6833-4844 (直通) / 03-6833-4606 (部門代表)

## ウイリス・タワーズワトソン

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-6

TEL : 03-6833-4606 (部門代表)

### ウイリス・タワーズワトソンについて :

ウイリス・タワーズワトソン (NASDAQ : WLTW) は、企業に対するコンサルティング業務、保険のブローカー業務、各種ソリューションを提供する業務における、世界有数のグローバルカンパニーです。企業の持つリスクを成長の糧へと転じさせるべく、各国で支援を行っています。その歴史は1828年にまで遡り、現在は世界140以上の国と地域に40,000人を超える社員を擁しています。

リスク管理、福利厚生、人材育成などの様々な分野で、企業の課題に必要な解決策を考案・提供し、企業の資本効率の改善や、組織と人材の一層の強化を図ります。また『人材』『資産』『事業構想』の密接な関係性を理解し、企業を業績向上へと導きます。

ウイリス・タワーズワトソンは、お客様と共に企業の可能性を追求して参ります。

### コーポレートガバナンス・アドバイザリーグループについて :

ウイリス・タワーズワトソンのコーポレートガバナンス・アドバイザリーグループは、規制当局や投資家からの最新情報、長年にわたる企業へのアドバイザリー過程より得た知見を十分に活用しつつ、『取締役会評価』、『経営者指名・後継者計画』、『経営者報酬』、『戦略的開示および対話』の検討を横断的に取り扱うことで、お客様における実効的なコーポレートガバナンス体制の実現をサポートしています。

各論個別のコーポレートガバナンス・コード対応から、すべての論点を統合的に取り扱うコーポレートガバナンスの「デザイン」まで、柔軟かつ臨機応変に対応できる体制をグループとして整えることで、お客様のニーズに合った最適なコーポレートガバナンスのストーリーや構造を共に探し、その対外的な発信までを見据え、一貫した支援を行います。